

令和3年度 第5回豊橋市総合教育会議議事録要録

令和4年2月1日 開 催

豊橋市教育委員会

第5回 総合教育会議	
日時	令和4年2月1日(火) 午後3時00分～4時30分
場所	市役所東館4階 政策会議室
構成員	浅井 由崇 市長 山西 正泰 教育長 中島 美奈子 教育委員 渡辺 嘉郎 教育委員 内浦 有美 教育委員 西島 豊 教育委員
事務局	種井 直樹 教育部長 小林 久彦 美術博物館長 岩原 剛 文化財センター所長 浅井 清史 公園緑地課長 山口 徳之 観光振興課長 浅倉 淳志 教育政策課長 ほか 4名
その他	傍聴人 2名

議事日程

協議事項

- 1 吉田城址の保存と活用について ～市史跡指定と保存活用計画～

連絡事項

次回開催日程 令和4年6月22日(水) 15:00～

(教育部長)

ただいまから令和3年度第5回豊橋市総合教育会議を開催させていただきます。議題は、吉田城址の保存と活用についてです。

協議事項

1 吉田城址の保存と活用について ～市史跡指定と保存活用計画～

■美術博物館長、文化財センター所長 協議事項について資料説明

(教育部長)

それでは、ただいまの説明に対するご意見をお伺いしたいと思います。よろしくお願いたします。

(渡辺委員)

まちに愛着をもつということはとても大事なことです。豊橋には素晴らしい歴史文化があるということが今回よくわかりましたので、今後、市民の愛着を育み、素晴らしいまちを残すための取り組みにもっと力を入れてほしいと思います。

多くの方が、豊橋が昔は吉田だったことをあまり知らず、豊橋と吉田城址がなかなか結びついていないと思われるので、うまく説明できるとよいと思います。以前、教育委員会での話し合いでは、まちの愛着を育てるためにわかりやすい物語があるとよいという話になりました。吉田城址物語といったものや著名な三人の城主の物語があると、わかりやすく市民にアピールできるのではないのでしょうか。

(中島委員)

説明をお聞きして、豊橋に素晴らしい歴史文化があることを改めて認識しました。この魅力を後世に伝えることが、まちの愛着をもつことにつながると思います。吉田城址の保存と活用にどれほどの費用がかかるかわかりませんが、このまま劣化させてはいけないということがよくわかりました。豊橋だけではなく、東三河にとっての宝になると思いますので、他の自治体を参考にメリハリのある整備を進めてほしいです。

(教育長)

子どもに愛着をもってもらうためには、授業の中で取り組むのが一番効果的ですので、学芸員の説明をオンライン配信することなどが考えられます。子どもたちの中には、美術博物館がどこにあるかわからないという子もいますので、周辺一帯をアピールできるとよいと思います。アピールの方策として考えられるのは、例えば、地元出身の漫画家の方にさきほどの物語を描いてもらったり、地元企業に吉田城のプラモデルを作ってもらったりするなど、広く多くの人に知ってもらうための取り組みができればよいと思います。

(西島委員)

プレゼンテーションが素晴らしく、学生の立場で聞いたとしても、すごいなと純粋に思える文化財ですので、これを残してアピールしていくことは絶対に必要なことです。

あとは方法論について、お金さえあれば、大きな整備をしてほしいと思いますが、なかなか難しいことなので、まずは市民によく知ってもらうことです。あまり知られていないものを魅力に変えるための情報発信が先決だと思います。次に、費用対効果を考えながら

手段を考えていくわけですが、渡辺委員のおっしゃったそれぞれの歴史文化を知るためのストーリーを作るとともに、シティプロモーションとして、こうしていきたいというものがあると魅力を伝えやすいのではないかと思います。

(内浦委員)

岡崎城の話ですが、展示のほかに武将隊が 365 日通してショーやトーク、ガイドなどで魅力を発信していて、若い人からお年寄りまで多くの人が集まります。人件費など多くのお金がかかっているはずですが、どんな手を使ってでも愛着をもってほしいという岡崎市行政の気概を感じます。

吉田城にも、お年寄りや歴史ファンに限らず、若い人たちにも来てほしいですし、寒い季節だろうと常に人が集まって盛り上がる場所になってほしいと思います。まず、保存自体がとても大事であり、また、それにお金がかかるということがひとつありますが、行政としては、残していくんだ、市民と一緒に共有していくんだ、という意志をもった施策を打ってほしいです。

(教育長)

確かに、岡崎市の駅前の家康像や四天王像、岡崎城の大きな土産屋などを見ても、行政の強い思いを感じます。

(渡辺委員)

家康ほどの知名度はないにしても、豊橋の三人の城主の物語などを発掘できるとよいと思います。また、やはり子どもの頃から知っているのと愛着をもちやすいので、学校の授業の中に取り入れられるとよいです。

(中島委員)

豊橋市の学芸員さんのレベルが非常に高いと聞いています。子どもたちが学芸員さんに憧れ、同時に豊橋に愛着をもつということもあると思いますので、うまく活用することができればと思います。

(市長)

まちの愛着を育むためには、子どもの頃から歴史文化や偉人に関する教育が大切だと考えていますので、教育委員会にはテキストの作成をお願いしているところです。

委員の皆様からは、豊橋と吉田が結びつくようによく知ってもらうこと、三人の城主などの物語、岡崎市の取り組み例など、素晴らしい意見をいただきました。吉田城址の保存と活用については、市民の皆さんを巻き込みながら、吉田城をどうしていくかを一緒に考えていただきたいと思います。お金の問題はありますが、最近は企業版ふるさと納税やクラウドファンディングなどさまざまな手法がありますので、研究していく必要があると思います。

(中島委員)

子どもは遊んで学ぶものです。かるたやすごろくなど、豊橋の歴史文化を遊んで学ぶことができるものを市民と一緒に作るのも面白いと思いました。

(市長)

遊びという形で小さい頃から触れることが大切だと思います。

(内浦委員)

整備にはやはりお金がかかってしまうものですか。

(文化財センター所長)

どこまでやるかによりますが、復元整備で建物を建てるとなるとどうしてもお金がかかるものです。メリハリをもって、例えば、門と櫓など一部の整備だけでも雰囲気は十分に変わると思います。

(中島委員)

改めて、これはしっかりと残していかなければならないものだと認識しました。この課題解決的な認識を豊橋市民全体で共有することができれば、例えば寄附を募ることなどできるかもしれませんので、この問題がいかに重要で大変であるのかを市民の方にプレゼンしていけるとよいと思います。

(渡辺委員)

市民の意見を聞くときには、ジェネレーションギャップがあってははいけませんし、今後のことを考えていくわけですから、若者の意見を聞いてほしいです。

(教育長)

わかば議会に投げかければ面白いアイデアが出るかもしれません。

(内浦委員)

予算については分野ごとに賛成と反対が分かれるものだと思いますが、吉田城址の保存活用に関してはどうでしょうか。

(市長)

市民の皆さんの理解が深まれば深まるほど、賛成の意見が広がっていくはずですが、どんな施策でもすぐにすべての方の賛成が得られるとは思いません。まず、吉田城のすごさや魅力を知ってもらうことが必要であり、そのためにオンライン授業や親しみやすい物語、かるた遊びなど、子どもたちに健全な郷土愛を育む教育が重要であると思います。

(教育長)

学芸員さんの説明を子どもに聞かせたいと思います。さきほどの話を聞くだけで子どもたちのもつイメージは変わるはずですよ。

(文化財センター所長)

ぜひ実際に見に来てほしいと思います。

(渡辺委員)

親世代もきっと知らないはずですので、併せてアピールできるとよいと思います。

(市長)

広報とよはしなどには情報を掲載していますか。

(文化財センター所長)

広報には、以前、特集記事を載せたことがあります。

また、ティーズで番組を作ってもらったこともあります。発掘等をする際には説明会も開くのですが、毎回 500 人ほどの人が集まります。その際にはいろいろな話をしますが、皆さんご満足いただいております。

(西島委員)

豊橋青年会議所で令和元年度に全国城下町シンポジウムをやった際には、延べ 9,000 人もの方が集まりましたので、経済効果も大きいはずです。

(市長)

今日の会議の総括ですが、まず吉田城の魅力や価値を市民の方によく知ってもらうことから始めなければいけないと改めて感じました。今後、市民の理解を得ながら、さまざまな手法で財源を調達していくことも含め、しっかりとした保存活用計画を作っていたきたいと思います。計画策定の際には、委員の選定が非常に重要になりますので、幅広い年代の方からの意見をよく聞いて、市民の皆さんのご理解を得られるようお願いしたいと思います。

連絡事項

- ・次回開催日程 令和 4 年 6 月 22 日 (水) 15 : 00～

(教育部長)

以上で、令和 3 年度第 5 回豊橋市総合教育会議を終了します。ありがとうございました。